

平成 28 年 6 月 17 日

各 位

碧 海 信 用 金 庫

<b>2016 年 3 月 期（平成 27 年 度）決算発表</b>
------------------------------------

碧海信用金庫（理事長：石川 澄夫）は、2016 年 3 月 期（平成 27 年 度）の決算について、以下のとおり業績の要約を公表いたします。

記

1. 主要業績数値

		2016 年 3 月 期 (当期)	2015 年 3 月 期 (前期)	増 減
預貸金状況	預金積金残高	1,921,957 百万円	1,858,386 百万円	+63,570 百万円 (+3.42%)
	貸出金残高	1,006,360 百万円	970,407 百万円	+35,953 百万円 (+3.70%)
損益状況	実質業務純益	5,202 百万円	5,206 百万円	△4 百万円
	経常利益	5,378 百万円	6,821 百万円	△1,443 百万円
	当期純利益	4,089 百万円	4,808 百万円	△719 百万円
健全性	純資産額	179,515 百万円	171,271 百万円	+8,243 百万円 (+4.81%)
	自己資本比率(単体)	17.68%	18.70%	△1.02 ポイント
	不良債権比率	3.33%	3.54%	△0.21 ポイント

※ 単位未満切捨て表示。

※ 不良債権比率は金融再生法ベース。

2. 業績コメント

〔預貸金状況〕

○預金積金残高は、定期預金を中心に順調に増加し、前期比 63,570 百万円増加の 1,921,957 百万円となりました。貸出金残高は事業者向け貸出、住宅ローンなどがともに増加し、前期比 35,953 百万円増加の 1,006,360 百万円となり、1 兆円の大台を超えました。

## 〔損益状況〕

○貸出金利息の減少や預金利息の増加があったものの、物件費等の経費削減や債券売却益の計上などから、実質業務純益 5,202 百万円、経常利益 5,378 百万円、当期純利益 4,089 百万円となりました。

## 〔健全性〕

- 金融機関の安全性を表す代表的な指標である自己資本比率（単体）は、利益計上による自己資本の増加はありましたが、順調な預金等の増加に伴う総資産の増加により前期比 1.02 ポイント低下の 17.68%となりました。信用金庫に求められる国内基準（4%）を大きく上回っており、当金庫の安全性は極めて高い状態にあります。
- 不良債権比率（金融再生法ベース）は、地域経済への影響を十分に考慮しつつ減少に努めた結果、前期比 0.21 ポイント低下の 3.33%となりました。

以 上